



For Earth, For Life  
Kubota

ON YOUR SIDE

## 連結決算説明 2021年12月期

(株)クボタ 代表取締役副社長執行役員 企画本部長

吉川 正人

2022年2月18日 (金)



## 2021年12月期連結決算概要

For Earth, For Life  
Kubota

(億円)	2021年12月期	2020年12月期	増減		予想比増減 (2021年8月)	
			金額	%	金額	%
売上高	21,968	18,532	+ 3,435	+ 18.5	+ 468	+ 2.2
国内	6,028	5,952	+ 76	+ 1.3	▲ 132	▲ 2.1
海外	15,940	12,580	+ 3,359	+ 26.7	+ 600	+ 3.9
営業利益	11.2% 2,462	9.5% 1,753	+ 709	+ 40.5	▲ 138	▲ 5.3
税引前利益	11.5% 2,526	10.0% 1,859	+ 667	+ 35.9	▲ 104	▲ 4.0
親会社の所有者に帰属する 当期利益	8.0% 1,756	6.9% 1,285	+ 471	+ 36.7	▲ 74	▲ 4.0

	2021年12月期	2020年12月期	増減
ROE	11.1%	8.8%	+ 2.3P

## 事業セグメント別売上高

For Earth, For Life  
Kubota

(億円)	2021年12月期	2020年12月期	増減	
			金額	%
<b>機械</b>	<b>18,648</b>	<b>15,091</b>	<b>+ 3,557</b>	<b>+ 23.6</b>
国内	3,105	2,929	+ 176	+ 6.0
海外	15,543	12,162	+ 3,381	+ 27.8
<b>水・環境</b>	<b>3,054</b>	<b>3,158</b>	<b>▲ 104</b>	<b>▲ 3.3</b>
国内	2,657	2,740	▲ 82	▲ 3.0
海外	397	418	▲ 22	▲ 5.2
<b>その他</b>	<b>266</b>	<b>284</b>	<b>▲ 18</b>	<b>▲ 6.3</b>
国内	266	283	▲ 18	▲ 6.3
海外	0	0	+ 0	+ 14.3
<b>売上高合計</b>	<b>21,968</b>	<b>18,532</b>	<b>+ 3,435</b>	<b>+ 18.5</b>

<b>国内売上高</b>	<b>6,028</b>	<b>5,952</b>	<b>+ 76</b>	<b>+ 1.3</b>
<b>海外売上高</b>	<b>15,940</b>	<b>12,580</b>	<b>+ 3,359</b>	<b>+ 26.7</b>

為替の影響（+650億円）を除くと、機械海外は+22%の増。  
海外売上全体は+22%の増

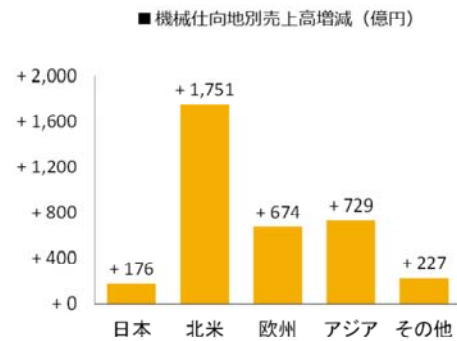
\*社内組織の変更に伴い、従来「その他部門」に含めていた金融サービス事業を2021年12月期より「機械部門」に変更。  
この変更に伴い2020年12月期についても同様の分類に組替再表示しています。

## 事業セグメント別売上高（対前年同期）

For Earth, For Life  
Kubota

**機械 +3,557億円（国内：+176 海外：+3,381）**

- 日本** 消費増税前の駆け込み需要の反動減からの回復や、経営継続補助金及び優遇税制の効果により農機、建機が増
- 北米** 郊外移住など住宅市場の好調が需要を牽引しトラクタ、建機が増。エンジンも旺盛な建設やインフラ開発を背景に堅調
- 欧州** 前年のコロナ禍から順調に回復しトラクタ、建機が増。エンジンも建産機市場の好調が継続し堅調
- アジア** 安定した天候や政府事業案件に加え、畑作市場の開拓が進みタイのトラクタ、コンバインが増。インドも増
- その他** 景気刺激策の恩恵や住宅建築市場の活況により、豪州でトラクタ、建機が増



【2021年12月期決算説明会資料】 株式会社クボタ

©2022 Kubota Corporation All Rights Reserved. 4

機械国内は+176億円（+8%）の増。

- 農機・建機ともに消費増税前の駆け込み需要の反動減からの回復に加え、経営継続補助金や優遇税制の効果により農機、建機が増加。

機械海外+3,381億円（+28%）の増。

- 北米は+1,751億円（+28%）の増。
  - ✓ 郊外移住などに伴う旺盛な需要を背景にトラクタ、建機が増加しました。
  - ✓ エンジンは旺盛な建設やインフラ開発を背景に堅調に推移しました。
  - ✓ 一方、港湾の混雑やサプライヤーの生産遅れは継続、2021年12月末の米国のディーラー在庫水準は2.0カ月となり、前年3Q末の1.6カ月から増加しておりますが、まだまだ低い水準となっております。
- 欧州は+674億円（+31%）の増。
  - ✓ ロックダウンに伴うディーラーの営業停止や市場減による2020年の低迷から順調に回復し、トラクタ、建機が増加しました。
  - ✓ エンジンも建産機市場の好調が継続し堅調に推移しました。
- アジアは+729億円（+23%）の増。
  - ✓ タイでは安定した天候、農家への政府事業案件に加えて畑作市場開拓が進みトラクタやコンバインが増加しました。
  - ✓ インドは、昨年のロックダウンの影響の反動により増加しました。
- その他は+162億円（+81%）の増。
  - ✓ オーストラリアでは景気刺激策の恩恵や住宅建築市場の活況が継続し、トラクタや建機が大幅に増加しました。

## 事業セグメント別売上高（対前年同期）

For Earth, For Life  
Kubota

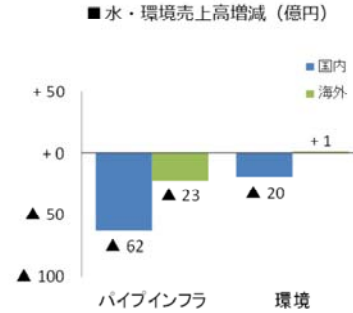
### 水・環境 ▲104億円（国内：▲82 海外：▲22）

#### 国内

- パイプインフラ関連は、ダクトイル鉄管が2020年の大型案件の反動や緊急事態宣言に伴う工事の遅延などにより減
- 環境関連は、排水ポンプ車の増販があるもプラント建設の減少により減

#### 海外

- パイプインフラ関連は、前年のコロナの影響による受注減により反応管などの素形材が減



【2021年12月期決算説明会資料】 株式会社クボタ

©2022 Kubota Corporation All Rights Reserved. 5

#### 水・環境

- 国内は▲82億円（▲3%）の減。
  - ✓ パイプインフラ関連はダクトイル鉄管が前年の大型案件の反動や新型コロナウイルスの感染拡大に伴う工事の遅延などにより減少しました。
  - ✓ 環境関連は排水ポンプ車の増販がありましたが、双葉案件などプラント工事の減少により減となりました。
- 海外は▲22億円（▲5%）の減。
  - ✓ パイプインフラ関連は反応管などの素形材が2020年のコロナによる受注減の影響を受け減少しました。但し、需要は回復しており、2021年の受注は好調でした。

## 営業利益

For Earth, For Life  
Kubota

(億円)	2021年12月期		2020年12月期		増減	
	金額	%	金額	%	金額	%
営業利益	2,462	11.2	1,753	9.5	+ 709	+ 40.5

### 営業利益 (+709億円) の増減要因

<b>1.為替変動</b>	米ドル(107円→110円 ※1) ユーロ(122円→130円 ※1) 他	▲15億円 +70億円 +95億円	<b>+150億円</b>
<b>2.為替差損益</b>			<b>+115億円</b>
<b>3.原材料</b>	機械(銅材、買入部品 他) 水・環境(スクラップ、ニッケル、コイル 他)	▲303億円 ▲72億円	<b>▲375億円</b>
<b>4.インセンティブ率変動</b>	北米+32億円 他		<b>+33億円</b>
<b>5.増減販</b>			<b>+796億円</b>
<b>6.製品値上げ</b>			<b>+211億円</b>
<b>7.その他</b>			<b>▲221億円</b>

※1: 但し、日本からの製品輸出にかかる輸送、在庫期間を加味した利益実現レートは、米ドル108円→107円、ユーロ121円→129円程度

【2021年12月期決算説明会資料】 株式会社 Kubota

©2022 Kubota Corporation All Rights Reserved. 6

- インセンティブ率の変動 (+33億円)
  - ✓ 米国の金利水準が前年に比べて低いことなどが要因です。
- 製品値上げ (+211億円)
  - ✓ 北米での値上げ効果が中心です。
- その他 (▲221億円)
  - ✓ 想定外のコストとして北米排ガス規制に伴う製品保証義務期間の延長に合わせ、保守的な引当金を計上したことによる影響が▲84億円、増産により想定以上にスポット手配の輸出物流費の増加、北米での材料価格、人件費、物流費の増加により、営業利益は2Q見通しの2600億円を割り込む結果となりましたが、事業環境が悪化したわけではありません。
  - ✓ その他内訳は前述の想定外のコストを含む費用増▲214億円に加え、研究開発費▲100億円、設備投資による減価償却費▲50億円、人件費増加▲60億円に対し、前年の一過性のコロナ関連影響の解消影響+189億円等となっています。

## 事業セグメント別営業利益

For Earth, For Life  
Kubota

(億円)		2021年12月期	2020年12月期	増減
機械	売上高	18,648	15,091	+ 3,557
	セグメント利益	2,504	1,800	+ 704
	利益率	13.4%	11.9%	+1.5P
水・環境	売上高	3,054	3,158	▲ 104
	セグメント利益	223	259	▲ 37
	利益率	7.3%	8.2%	▲0.9P
その他	売上高	266	284	▲ 18
	セグメント利益	37	35	+ 2
	利益率	13.9%	12.2%	+1.7P
全社/消去	セグメント利益	▲ 302	▲ 341	+ 39
計	売上高	21,968	18,532	+ 3,435
	営業利益	2,462	1,753	+ 709
	利益率	11.2%	9.5%	+1.7P

\*社内組織の変更に伴い、従来「その他部門」に含めていた金融サービス事業を2021年12月期より「機械部門」に変更。この変更に伴い2020年12月期についても同様の分類に組替再表示しています

【2021年12月期決算説明会資料】 株式会社 Kubota

©2022 Kubota Corporation All Rights Reserved.

7

- 機械は、物流費の増加や原材料価格の上昇などの減益要因はありましたが、国内外での大幅な増収や値上げ効果、為替の改善により増益となりました。
- 水・環境は、原材料価格の高騰や減販により減益となりました。

## 株主還元推移

For Earth, For Life  
Kubota

(億円)	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	増減	累計 (5年)
	12月期	12月期	12月期	12月期	12月期		
	米国基準	IFRS					
親会社の所有者に 帰属する当期利益 (1株当たり)	1,364 (110.30円)	1,386 (112.44円)	1,491 (121.59円)	1,285 (105.85円)	1,756 (145.52円)	+ 471 (+39.67円)	7,283
還元額	配当 (1株当たり)	395 (32円)	419 (34円)	441 (36円)	436 (36円)	506 (42円)	+ 70 (+6円)
	自己株消却 (百万株)	132 (7.1百万株)	29 (1.5百万株)	196 (12.0百万株)	199 (12.0百万株)	202 (8.3百万株)	+ 4 (▲3.7百万株)
	還元額計	527	448	636	635	708	+ 73
配当性向	29%	30%	30%	34%	29%	▲ 5P	30%
総還元性向	39%	32%	43%	49%	40%	▲ 9P	41%

### 株主還元の中期目標

- 総還元性向40%以上を目標とし、50%をめざす
- 取得した自己株式については、即消却を継続する

【2021年12月期決算説明会資料】 株式会社 Kubota

©2022 Kubota Corporation All Rights Reserved. 8

- 株主還元の中期目標に変更はありません。
- なお2021年12月期については、6円の増配、総還元性向は40%となっております。



## 財政状態計算書

For Earth, For Life  
Kubota

(億円)	2021年12月期 期末	2020年12月期 期末	増減	為替を除く 増減
現金及び現金同等物	2,586	2,229	+ 357	
営業債権	5,743	5,920	▲ 177	▲ 420
金融債権	14,104	11,250	+ 2,854	+ 1,750
棚卸資産	5,101	3,740	+ 1,361	+ 1,050
その他	10,201	8,754	+ 1,447	
<b>資産合計</b>	<b>37,735</b>	<b>31,893</b>	<b>+ 5,842</b>	
有利子負債	10,945	8,744	+ 2,201	+ 1,450
営業債務	3,923	3,236	+ 687	
その他	5,017	4,171	+ 846	
<b>負債合計</b>	<b>19,885</b>	<b>16,151</b>	<b>+ 3,734</b>	
親会社の所有者に帰属する持分	16,780	14,760	+ 2,019	
非支配持分	1,070	981	+ 89	
<b>資本合計</b>	<b>17,850</b>	<b>15,742</b>	<b>+ 2,108</b>	
<b>負債及び資本合計</b>	<b>37,735</b>	<b>31,893</b>	<b>+ 5,842</b>	
DEレシオ (ネット)	0.50	0.44	+ 0.06	
金融を除くDEレシオ (ネット)	▲ 0.21	▲ 0.30	+ 0.09	

【2021年12月期決算説明会資料】 株式会社 Kubota

©2022 Kubota Corporation All Rights Reserved. 9

- 営業債権は為替の影響を除いた実質ベースで▲420億円の減。
  - ✓ 米国では、出荷が遅れている中で、小売が好調なため、ディーラーからの売掛金回収が進みました。
- 金融債権は実質ベースで+1,750億円の増。
  - ✓ 主に小売が好調な北米で増加しました。なお、金融債権の回収状況は引き続き良好です。
- 棚卸資産は実質ベースで+1050億円の増。
  - ✓ 港湾の混雑などの影響により輸送中の在庫が増加しました。
- 有利子負債は流動・非流動あわせて実質ベースで+1450億円の増。
  - ✓ 好調な小売に伴い金融債権が大幅に増加しましたが、売掛金の回収が進んだことなどにより、有利子負債の増加幅は抑制されています。

## キャッシュ・フロー計算書

For Earth, For Life  


(億円)	2021年12月期	2020年12月期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	925	1,429	▲ 504
金融債権の増加	▲ 1,808	▲ 1,853	+ 45
その他	2,733	3,282	▲ 549
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,274	▲ 471	▲ 802
有形固定資産及び無形資産の取得	▲ 1,257	▲ 848	▲ 410
その他	▲ 16	376	▲ 393
財務活動によるキャッシュ・フロー	606	▲ 684	+ 1,289
為替レート変動の現金及び現金同等物に対する影響	100	▲ 42	+ 142
現金及び現金同等物の純増	357	233	+ 125
フリーキャッシュ・フロー	▲ 332	582	▲ 914
フリーキャッシュ・フロー (金融債権の増減を除く)	1,476	2,434	▲ 959

【2021年12月期決算説明会資料】 株式会社クボタ

©2022 Kubota Corporation All Rights Reserved. 10

- 営業キャッシュフローは+925億円の収入。
  - ✓ 内訳は、利益と減価償却費で+2,624億円の収入、金融債権の増で▲1,808億円の支出、その他+109億円の収入です。
  - ✓ 前年同期比では▲504億円の収入減となりました。港湾混雑による輸送在庫の増加により棚卸資産が増加しました。
- 当社が重視しております、金融債権の増減を除いたフリーキャッシュフローは、前年比▲959億円減少して1,476億円となりました。

## 金融事業の状況 <ご参考（非監査）>

For Earth, For Life  
Kubota

### 財政状態計算書

(億円)	2021年12月期 期末		2020年12月期 期末	
	金融事業	金融事業を除く ベース	金融事業	金融事業を除く ベース
資産合計	16,364	24,040	13,174	20,973
現金及び現金同等物	304	2,283	249	1,980
営業債権	307	5,446	332	5,604
金融債権	14,104	-	11,250	-
棚卸資産	-	5,101	-	3,740
有形固定資産	57	4,907	12	4,235
その他	1,594	6,304	1,331	5,414
負債合計	13,840	8,552	11,153	7,078
有利子負債	13,016	-	10,564	-
その他	824	8,552	590	7,078
資本合計	2,524	15,487	2,021	13,895

### 損益計算書（金融事業）

(億円)	2021年12月期	2020年12月期	増減	
	金額	金額	金額	%
売上高	898	792	+ 107	+ 13.5
営業利益	50.3% 452	41.5% 328	+ 123	+ 37.6
親会社の所有者に帰属する 当期利益	30.9% 278	25.1% 199	+ 79	+ 39.8

【2021年12月期決算説明会資料】 株式会社 Kubota

©2022 Kubota Corporation All Rights Reserved. 11

- 金融事業を除くベースでは、無借金状態を維持しております。
- 金融事業のP/Lも試算していますが、十分な収益性を維持しております。

## 機械事業の市場環境

**米国** **トラクタ・建機の小売は引き続き郊外移住ブームによる好調な住宅市場に支えられ好調を維持。ディーラー在庫の大幅な増加には時間がかかる見込み**

**トラクタ小売**

個人向けは引き続き需要が強いものの、前半は在庫量の制約により前年並みの小売を想定。後半は供給量の改善により増。農業向けは牛肉や牛乳など農産物価格の安定等により堅調

**建機小売**

好調な住宅着工による建設需要に加え、政府インフラ投資関連工事の増加により増

**トラクタ・建機  
／卸売**

港湾混雑や生産部品不足による生産・出荷遅れの解消、およびディーラー在庫の大幅な増加には時間がかかる見込み

**エンジン卸売**

OEM客先需要が引き続き強く建産機向けを中心に増

- 当事業と関連が強いとされる住宅着工は足元で170万軒（2021年12月）を超える高水準となっており、引き続き市場は好調です。

①トラクタ（小売）

- 個人、ホームオーナー向けが中心の小型（40馬力以下）や中型（40～60馬力）については、郊外移住の増加等を背景に堅調な需要が続くと見えますが、年前半は在庫量の制約により小売は前年並みに留まる見込みです。年後半には供給能力の改善に伴い増販を想定しています。
- 農業向けの比率が高い60馬力以上の中型や大型（120馬力～160馬力）については、牛肉や牛乳など農作物価格の高止まりを受けて市場は好調に推移する見込みです。

②建機（小売）

- 住宅市場の活況が継続することに加え、1兆ドルのインフラ投資計画法案によるインフラ工事の増加により増販を見込みます。

③トラクタ・建機（卸売）

- 在庫状況ですが前期末時点のディーラー在庫水準は2.0カ月となりました。当期も生産供給に注力していきますが、旺盛な需要に加え、サプライチェーンの問題の解決にはまだ時間を要することから、ディーラー在庫の大幅な増加にはまだ時間がかかる見込みです。
- 当社は引き続き緻密な在庫アロケーションにより小売への影響抑制を図るとともに、在庫不足が深刻なモデルに対しては日本での並行生産を開始させ、供給の上積みを図ります。

④エンジン（卸売）

- エンジンは、OEM客先需要が引き続き強く建産機向けを中心に増販を見込んでいます。

# 機械事業の動向（米国） - 補足データ

For Earth, For Life  


## ■ トラクタ市場小売台数伸長率（前年同期比）

	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-6月	1-9月	1-12月
2020年	▲ 8.9%	+ 24.0%	+ 28.2%	+ 33.3%	+ 13.3%	+ 18.0%	+ 21.0%
0-40馬力	▲ 5.1%	+ 13.9%	+ 17.1%	+ 21.6%	+ 6.5%	+ 10.3%	+ 13.1%
40-120馬力	▲ 14.1%	+ 9.2%	▲ 10.4%	+ 8.8%	▲ 0.1%	▲ 3.9%	▲ 0.3%
120-160馬力	+ 64.3%	▲ 1.9%	+ 1.2%	+ 2.9%	+ 15.2%	+ 10.5%	+ 8.9%
2021年	+ 34.0%	+ 11.4%	+ 4.9%	+ 3.8%	+ 19.3%	+ 13.8%	+ 11.1%
0-40馬力	+ 29.8%	+ 16.9%	+ 29.2%	+ 18.7%	+ 22.1%	+ 24.5%	+ 22.7%
40-120馬力							
120-160馬力							

出典：AEM (Association of Equipment Manufacturers)

## ■ 0-8tバックホー市場小売台数伸長率（前年同期比）

	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-6月	1-9月	1-12月
2020年	+ 4.5%	▲ 4.4%	+ 20.2%	+ 27.5%	▲ 1.0%	+ 6.1%	+ 12.0%
2021年	+ 38.0%	+ 30.4%	+ 7.4%	+ 2.1%	+ 33.5%	+ 23.4%	+ 16.8%

出典：AEM (Association of Equipment Manufacturers)

## ■ コンパクトトラックローダ市場小売台数伸長率（前年同期比）

	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-6月	1-9月	1-12月
2020年	+ 2.2%	▲ 0.1%	+ 25.0%	+ 24.7%	+ 0.8%	+ 9.0%	+ 13.8%
2021年	+ 46.5%	+ 32.3%	+ 8.5%	▲ 7.1%	+ 37.9%	+ 26.5%	+ 15.2%

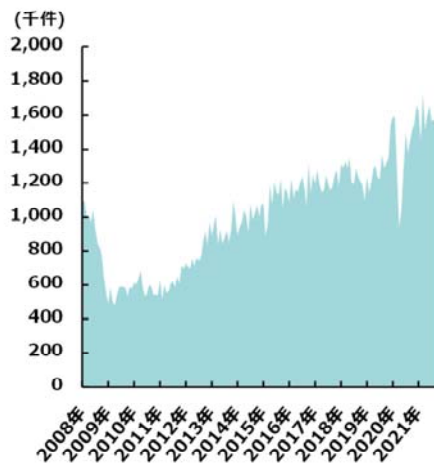
出典：AEM (Association of Equipment Manufacturers)

## ■ スキッドステアローダ市場小売台数伸長率（前年同期比）

	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-6月	1-9月	1-12月
2020年	▲ 10.9%	▲ 23.6%	+ 6.4%	▲ 0.8%	▲ 18.0%	▲ 10.4%	▲ 6.9%
2021年	+ 14.8%	+ 27.1%	▲ 2.6%	▲ 21.6%	+ 21.1%	+ 12.3%	▲ 0.8%

出典：AEM (Association of Equipment Manufacturers)

## ■ 米国住宅着工件数（季節調整済・年率換算）



**欧州** 農機市場は前年並みを想定。建機市場は各国での旺盛なインフラ投資により好調

### トラクタ/小売

経済動向は堅調に推移。前年の回復は一服となり農機市場は前年並みを想定

### インプラメント/卸売

堅調な農機市場に合わせて緩やかな市場拡大が予想されるも、鋼材価格上昇に伴う値上げ影響により成長は限定的

### 建機/小売

イタリア、イギリスでの優遇税制措置に加え、各国でインフラ投資が進み底堅く推移

### エンジン/卸売

建産機、冷凍機向けの需要は引き続き好調。しかし、OEM先の急激な増産要望に全て対応することは難しい状況

#### ①トラクタ（小売）

- 農業市場については、経済動向が堅調に推移しており、前年からの回復は一服しますが、好調であった前年並みの市場を想定しています。

#### ②インプラメント

- 農業向けトラクタ市場同様、堅調な市場を想定していますが、鋼材価格上昇に伴う値上げの影響により成長は限定的となる見込みです。

#### ③建機

- イタリア・イギリスでの優遇税制の効果に加え、各国でインフラ投資、住宅着工が増加するため、底堅く推移すると見込みます。

#### ④エンジン

- 建産機、冷凍機向けの需要は引き続き好調ですが、OEM先の急激な増産要望全てに対応するのが難しい状況が続きます。

### タイ・ 周辺国

**市場環境は大きく変わらないが、前年の政府事業が実施されない可能性が高く、販売は前年を下回る見込み**

#### 農機/小売

稲作市場は米価が下落傾向にあるが、米価格保証制度による下支え等により微減に留まる。畑作市場はサトウキビ、キャッサバが高値を維持し堅調。小売は前年の政府事業の反動により減

#### 建機/小売

政府の景気刺激策による公共投資が増加し増

#### 周辺国/小売

ミャンマーは、不安定な現地通貨により小売価格が定まらず市場は後退

### 中国

**政府補助金単価の減少に伴い高価格帯の農機市場は微減。ただし排ガス4次規制前の駆け込みもあり、中国全体では堅調**

#### 農機/小売

排ガス規制による値上げ前の駆け込み受注により農機全体では増

#### 建機/小売

公共工事は減少するが、民間向け工事向けの増加により増

#### エンジン/卸売

フォークリフト、高所作業車、冷凍ユニット向けを中心に好調

### タイ・周辺国

#### ①農機（タイ国内）

- ・ 稲作市場は米価が下落傾向ですがコメ価格保証制度による下支えにより微減に留まる見込みです。
- ・ 畑作市場はサトウキビ・キャッサバといった農作物価格が高値安定しており、堅調に推移する見込みです。
- ・ 一方、小売については前年の政府事業案件（農家への無償支給）が実施されない可能性が高く、その影響で前年を下回る見込みです。

#### ②建機（タイ国内）

- ・ 政府の景気刺激策による公共投資により増販を見込んでいます。

#### ③周辺国

- ・ カンボジアは作物価格の安定を背景に堅調に推移する見込みです。
- ・ ミャンマーは政情が安定してきましたが、不安定な現地通貨により小売価格が定めにくく市場は混乱状態が続く見込みです。

### 中国

#### ①農機

- ・ 農機は、中央政府農機補助金の予算規模の総額は増加する見通しですが、単価は減少することにより高価格帯の農機市場は微減を見込みます。
- ・ ただし排ガス4次規制による値上げ前の駆け込みが想定され小売は堅調な見込みです。
- ・ 乗用田植機は、新機種導入により増販を目指します。

#### ②建機

- ・ 建設機械は公共工事が減少しますが、民間向け工事の増加により増を見込みます。

#### ③エンジン

- ・ フォークリフトや高所作業車、冷凍ユニット向けを中心に増加見込みです。



### 日本

農機市場は経営継続補助金終了、米価下落の影響により微減。  
建機・エンジン市場はコロナによる活動制限の緩和により回復  
基調

#### 農機/小売

市場は微減となるが新機種導入効果により増

#### 建機/小売

コロナによる販売活動制限の緩和により市場が回復、レンタル向けを中心に堅調に推移

#### エンジン/卸売

発電機、道路機械など土木機械を中心に底堅く市場は推移

### ①農機

- 農機市場は、経営継続補助金終了、米価下落の影響により微減ですが、新機種導入効果により増販を見込みます。

### ②建機

- コロナウイルスによる販売活動制限の緩和により市場が回復、レンタル向けを中心に堅調に推移すると見込んでいます。

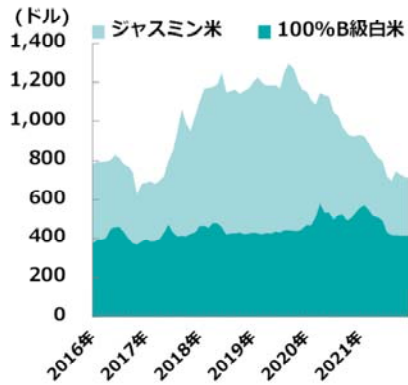
### ③エンジン

- エンジンは、発電機、道路機械など土木機械関係向けを中心に底堅く推移するとみています。

## 機械事業の動向（タイ・中国・日本） - 補足データ

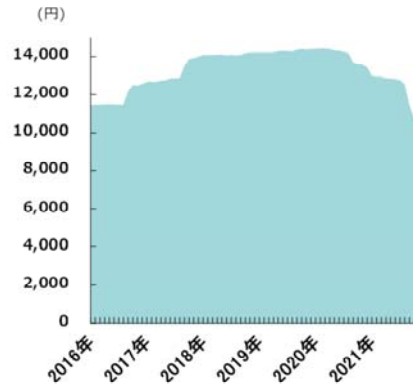
For Earth, For Life  
Kubota

■ タイ米輸出価格推移 ドル/トン



出典：米国農務省、タイ米輸出協会

■ 日本米の生産者価格推移 円/60kg



出典：農林水産省「農産物価統計調査」

■ 中国 中央政府農機購入補助金推移

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
補助金(億元)	200	170	210	228	186	186	180	169	140	210
年間計	218	238	238	237	186	186	180	274	190	

# 業績予想

## 2022年12月期業績予想

For Earth, For Life  
Kubota

(億円)	2022年12月期 (予想)	2021年12月期 (実績)	増減	
			金額	%
<b>売上高</b>	<b>24,500</b>	<b>21,968</b>	+ 2,532	+ 11.5
国内	6,450	6,028	+ 422	+ 7.0
海外	18,050	15,940	+ 2,110	+ 13.2
<b>営業利益</b>	10.2% <b>2,500</b>	11.2% <b>2,462</b>	+ 38	+ 1.5
<b>税引前利益</b>	10.3% <b>2,530</b>	11.5% <b>2,526</b>	+ 4	+ 0.2
親会社の所有者に帰属する <b>当期利益</b>	7.3% <b>1,780</b>	8.0% <b>1,756</b>	+ 24	+ 1.3

【2021年12月期決算説明会資料】 株式会社 Kubota

©2022 Kubota Corporation All Rights Reserved. 20

- 売上高は最高を更新します。
- インドエスコーツ社の数字については現時点では連結決算上での取扱が決定していない為、含まれておりません。

## 事業セグメント別売上高予想

For Earth, For Life  
Kubota

(億円)	2022年12月期 (予想)	2021年12月期 (実績)	増減	
			金額	%
<b>機械</b>	<b>20,800</b>	<b>18,648</b>	<b>+ 2,152</b>	<b>+ 11.5</b>
国内	3,200	3,105	+ 95	+ 3.1
海外	17,600	15,543	+ 2,057	+ 13.2
<b>水・環境</b>	<b>3,400</b>	<b>3,054</b>	<b>+ 346</b>	<b>+ 11.3</b>
国内	2,950	2,657	+ 293	+ 11.0
海外	450	397	+ 53	+ 13.5
<b>その他</b>	<b>300</b>	<b>266</b>	<b>+ 34</b>	<b>+ 12.9</b>
国内	300	266	+ 34	+ 13.0
海外	0	0	-	-
<b>売上高合計</b>	<b>24,500</b>	<b>21,968</b>	<b>+ 2,532</b>	<b>+ 11.5</b>
<b>国内売上高</b>	<b>6,450</b>	<b>6,028</b>	<b>+ 422</b>	<b>+ 7.0</b>
<b>海外売上高</b>	<b>18,050</b>	<b>15,940</b>	<b>+ 2,110</b>	<b>+ 13.2</b>

為替の影響(+261億円)を除くと、機械海外は+12%の増。海外売上全体も+12%の増

【2021年12月期決算説明会資料】 株式会社 Kubota

©2022 Kubota Corporation All Rights Reserved. 21

- 機械
  - ✓ 国内は農機、建機、エンジンとも増収を見込んでいます。
  - ✓ 海外は、北米は郊外移住ブームによる住宅市場の活況は続き、トラクタや建機で増収を見込みます。欧州は堅調に推移、アジアは政府事業案件の減少により前年並みとなりますが、機械海外全体では+2,057億円13%の増収を見込んでいます。
- 水・環境
  - ✓ 国内については素材価格上昇による工事の見直し等により需要は縮小傾向ですが、値上げ効果により増収を見込んでいます。
  - ✓ 海外については素形材の増加により増収を見込んでいます。
- また、海外売上に対する為替の影響は、米ドルは前年比で円安となるものの、他通貨は円高傾向にある為、合計で+261億円程度のプラスとなります。

## 営業利益予想

For Earth, For Life  
Kubota

(億円)	2022年12月期 (予想)		2021年12月期 (実績)		増減	
	金額	%	金額	%	金額	%
営業利益	2,500	10.2	2,462	11.2	+ 38	+ 1.5

### 営業利益 (+38億円) の増減要因

<b>1.為替変動</b>	米ドル(110円→114円 ※1) ユーロ(130円→128円 ※1) 他	+250億円 ▲10億円 ▲30億円	<b>+210億円</b>
<b>2.為替差損益</b>			<b>▲80億円</b>
<b>3.原材料</b>	機械(鋼材、買入部品 他) 水・環境(スクラップ、コイル、レジン 他)	▲530億円 ▲160億円	<b>▲690億円</b>
<b>4.インセンティブ<sup>※</sup>率変動</b>	北米▲71億円 他		<b>▲78億円</b>
<b>5.増減販</b>			<b>+460億円</b>
<b>6.製品値上げ</b>			<b>+760億円</b>
<b>7.その他</b>			<b>▲544億円</b>

※1: 但し、日本からの製品輸出にかかる輸送、在庫期間を加味した利益実現レートは、米ドル108円→114円、ユーロ129円→129円程度

【2021年12月期決算説明会資料】 株式会社クボタ

©2022 Kubota Corporation All Rights Reserved. 22

- インセンティブ率の変動 (▲78億円)
  - ✓ 米国の金利は緩やかに上昇していくと見ております。
- 製品値上げ (+760億円)
  - ✓ 原材料価格や物流費の高騰をカバーするために大幅な値上げを実行しますが、前年からのバックオーダーにより今期すべての売上に対して効果を取り込むことができず、760億円の増益要因にとどまる見通しです。
- その他 (▲544億円)
  - ✓ 物流費用の悪化が▲280億円、先ほど社長からも説明がありました通り研究開発の加速による研究費増加が▲210億円、設備投資増加による減価償却費増が▲70億円。その他に人件費増加▲50億円、堺研究所移転を含む固定費の増加▲100億円に対し、前年のフランティ引当金影響の解消により+84億円、北米増による構成差等により+82億円の増益要因があり合計で▲544億円の減益要因となります。

## 事業セグメント別営業利益予想

For Earth, For Life  
Kubota

(億円)		2022年12月期 (予想)	2021年12月期 (実績)	増減
機械	売上高	20,800	18,648	+ 2,152
	セグメント利益	2,890	2,504	+ 386
	利益率	13.9%	13.4%	+0.5P
水・環境	売上高	3,400	3,054	+ 346
	セグメント利益	210	223	▲ 13
	利益率	6.2%	7.3%	▲ 1.1P
その他	売上高	300	266	+ 34
	セグメント利益	40	37	+ 3
	利益率	13.3%	13.9%	▲ 0.6P
全社/消去	セグメント利益	▲ 640	▲ 302	▲ 338
計	売上高	24,500	21,968	+ 2,532
	営業利益	2,500	2,462	+ 38
	利益率	10.2%	11.2%	▲ 1.0P

【2021年12月期決算説明会資料】 株式会社 Kubota

©2022 Kubota Corporation All Rights Reserved. 23

- 全社/消去は為替差損、研究費増加によりコストが増加しています。

## 設備投資等

For Earth, For Life  
Kubota

### ■ 設備投資・減価償却費・研究開発費

(億円)	2022年12月期 (予想)	2021年12月期 (実績)	2020年12月期 (実績)
設備投資*	1,900	1,214	872
減価償却費*	626	556	532
研究開発費	863	653	553

\* IFRS第16号「リース」の適用に伴う使用权資産の計上及び使用权資産に係る減価償却費は含まない

- 設備投資は最大で1,900億円
  - ✓ 国内では堺の研究開発拠点設立を始め、BCP投資、DX投資等を積極的に行っています。
  - ✓ 海外では、すでに開示しております米国での建設機械生産拠点の投資などを予定しています。
- 減価償却費は626億円、研究開発費は863億円を見込んでいます。
- 先ほど社長からご説明しました通り、GMB2030の実現に向け、将来への足場をしっかりと固め、事業を飛躍させる為に積極的な先行投資を行っていきます。



---

本資料で記述されている業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

---



ご清聴ありがとうございました。

**For Earth, For Life**

**Kubota**